**ハンドマイク街頭演説原稿例　　国政３補選勝利・コロナ対策**

二〇二一年四月二十六日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、二十五日に行われた三つの国会議員補欠選挙・再選挙は、野党統一候補がすべて当選を果たしました。衆議院北海道２区は、収賄罪で在宅起訴された自民党議員の辞職による補欠選挙、参議院広島選挙区は、選挙買収事件で有罪が確定し、自民党議員の当選が取り消されたことによる再選挙でした。この結果は、菅自公政権の新型コロナ対策や、安倍政権以来の金権腐敗と政治の私物化に対する、国民の厳しい審判ではないでしょうか。

　みなさん、三つの選挙すべてで、幅広い市民と野党は安保法制を廃止し立憲主義を回復することを基本とする政策協定を結んでたたかいました。日本共産党も、選挙区によって形はいろいろありましたが、どの選挙区でも統一候補勝利のために全力をあげてきました。今回の結果は、野党が立場の違いをのりこえ、国民の願いを実現する一致点で結束すれば、政治は必ず変えられることを示しているのではないでしょうか。今年の秋までに、かならず衆議院の選挙が行われます。日本共産党は、市民と野党の共同の力で政治を変えるため、引き続き全力でがんばります。皆さんのご支援をお願いいたします。

　さてみなさん、新型コロナの感染拡大は止まらず、お隣の東京都などでは三回めの緊急事態宣言が発令されました。埼玉では、「まん延防止等重点措置」の対象に１３市町が追加され、これで「まん延防止」の対象地域は県南部を中心に１５市町にまで広がりました。高齢者へのワクチン接種が始まりましたが、国民への接種は他の国ぐにと比べて、きわめて遅れています。ここできちんとした対策をとらなければ、変異株が猛威を振るい、国民の命とくらしにとりかえしのつかない重大な事態を招きかねません。

　いま政府がやるべきことは、一日１０万件以上のモニタリング検査など、大規模検査を本気で実行すること、時短営業を強いられている飲食店への規模に応じた補償や持続化給付金の再支給など十分な補償をおこなうことではないでしょうか。さらに、医療機関へ減収補てんともに、コロナ病床を確保するための財政的な手立て、病院間の連携の手立てなどあらゆる手立てを国の責任でとることが、急がれています。そんな中、政府は東京オリンピック・パラリンピックをなんとしてでも開こうとしています。今政府がやるべきことは、ただちにオリンピック・パラリンピックの中止を決断し、すべての力をコロナ収束に集中することではないでしょうか。日本共産党は、コロナ対策を最優先に、国民の命とくらしを守るために、引き続き全力をつくします。

　みなさん、来る５月２日、日曜日、午後２時より、日本共産党オンライン演説会をユーチューブで配信いたします。メイン弁士は、小池晃書記局長・参院議員です。「ユーチューブ　共産党北関東」と検索し、この機会にぜひご視聴ください。よろしくお願いします。また、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますよう最後にお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）